



か え で ゆ う び ん 11月

2019年11月1日

社会福祉法人 清松学園

幼保連携認定こども園 かえで保育園

園長 引地 美津代

先日の運動発表会は、判断のしにくい天候で毎回ですが保護者の方々の温かいご協力で子供たちの最それぞれ思い出作りができたのではないのでしょうか。1部、めばえぐみにとっては、初めての運動発表会でしたが、室内は狭く、音響も悪い中でのプログラムになってしまったのにもかかわらず、「大変ですね」「お手伝いしましょうか」という声をたくさんいただきました。お気遣いありがとうございました。

かえで保育園の行事や生活は「子どもにとって一番良い時間を過ごすには周りの大人がそれぞれできることを協力して作り上げる」という趣旨を理解してくださっていることに感謝します。途中で園庭にご移動いただき、みんなでできたパラバルーンも家族そろってニコニコ顔で喜んで下さりこちらまでうれしい気持ちになりました。

2部、今年は異年齢保育を中心に普段通りの子どもの姿をどのようにご披露するかプログラム内容を子供たちの意見を集約して作り上げました。なぜ異年齢で？と思われたと思いますが、かえで保育園では毎日そばにいるお兄ちゃんおねえちゃんが見守ってくれたり、教えてくれたりする中で自分を出せることを子どもが一番感じながら育ててくれています。仲間が傍にいてくれることは何よりの力になります。その関わりを保護者の方々に伝えたいとプログラムを考えました。

そして年長だいちの演技は、毎年ながら子供たちがしっかり向き合い、できること、できないこと工夫するところ、頑張るところを自分で気づき意見を出して構成する。すごい力が出せました。これがたった5～6年間しか世の中で過ごしていないのに自分の力を出せること、ここがかえで保育園での子どもの育ちでの自慢するところですよ。だいちさん！ありがとう！

かえで保育園の行事は一つひとつ子どもの思いや考えを形にしていく取り組みをしています。何かお遊戯をしたり、年齢や発達に合わないプログラムに保育者が必死になって教え込んだりすることは保育や教育ではありません。大人の思い違いで進める行事には何も意味がありません。

めばえぐみやふたばぐみの行事は一見何もさせてもらえない・何も教わっていないように感じてしまいがちですが、保護者の方が笑顔でニコニコ過ごし、横には大好きな先生といつも聞いている音楽が聞こえ、なんだかうれしいな～と感じる気持ちを大事にしていくことで安心していられることを保護者の方に感じてもらうことが行事の目的です。そして園生活の中で1年1年「できること、知っていること」が増え、幼児になると「みてほしい・やってみたい」に変わっていきます。行事ではそんな成長したお子様の姿、一瞬の心の動きをしっかりと目で見ていただくためにカメラやビデオも禁止しています。カメラで隠された両親の顔とニコニコ笑っているお母さんやお父さんの顔・・・どちらが子どもにとって健やかかは一目瞭然です…。

ご自分のお子様の園生活の姿を映したい・記録に残したいという気持ちは十分理解をしていますが、「子供にとって」を一番に考え保育・教育を進めていきたいと思えます。写真での記録は年間でプロのカメラマンの撮影や先生の写真を楽しみにしてください。

行事後、必ず振り返りをします。改善すべき点は職員皆で考え、深めるところは深めていき子どもの育ちを楽しみに保育を組み立てていきます。12月は成長発表会・2月は楽しいかえでの日でそれぞれのお子様の一年を振り返ります。あっという間の乳幼児期・ともに成長を喜んでいきたいと思えます。

ダンディ・タイムでは園庭の修理とピタゴラスイッチの補修をしました。丸太のベンチを今後作成していきます。

今回は 12月21日(土)か1月25日(土)に予定しています。

かえでカフェ

運動発表会でのフラダンスの披露、ありがとうございました。皆さんが素敵に踊っている姿は二階席で見ている子供たちの緊張をほぐしてくださいました。ありがとうございました。

今回は 11月29日(金)16:30~18:00で楽しみます。よろしくお願いします。

にこにこメッセージ

日中は汗ばむような日差しも日を追うごとに、朝夕は空気の冷たさを感じるようになってきました。丈夫な身体を目指してできる限り薄着で過ごしていきます。

さて、先月のかえでゆうびんで高田先生より、小さい頃から本が好きで「読書の秋」を満喫したいと書いていました。私は小さい頃、寝る前に母が絵本を読もうとしたら「静かにして」と言ったり、家にある本は積み木のように積み上げて遊んだりすることが好きな子で読書とは無縁で育ちました。5歳年上の姉は、本が好きでどうにかして妹に本を読んでもらいたいと小学生の私に「アンネの日記」をプレゼントしてくれました。その本も読まない妹にしびれを切らし、何日もかけて読み聞かせてくれましたが、すぐに寝てしまっていたことだけを覚えています。そんな私も保育者として、母として、好きな絵本と出会ったり、読書が楽しいと思えるようになりました。また子育て真っ最中の頃には、子どもが寝てからベランダでお茶をしながら、短い時間、本を読むことも楽しみにしていました。今からの季節、暖かくして熱い飲み物を飲むだけでも気分転換できますよ。最近は好きな音楽と読書を自分のペースで楽しむことが私の元気になる時間です。みなさんも秋の夜長を楽しんでみませんか。

主幹教諭 藤森 寿美

ふたば部屋に行くと、お人形遊びをするお友達がいました。服を脱がせてくれたり、オムツを替えてくれたりしています。すると、私のところにお人形を「おねがいします！」と言ってお人形を連れてきました。これは、「保育園ごっこ」かな…?と思い、「お変わりないですか?」と聞くと、「はぁーい! いきます!」と元気いっぱいのお母さんになりきっていました。

部屋を1周すると戻ってきて、「ただいまぁ」と嬉しそうにお人形を抱っこします。

「ぎゅっ〜っ」と言いながら力強く抱きしめるお友達もいました。また、お人形を預けるときには「いってくるからね、すぐにくるからね」と頭を撫でながらささやくお友達も。

日頃から、保護者の方に抱きしめられたり、優しくお話してくれたりしていることがしっかりとお子様の中に染み込み、自分以外の人にも同じように優しくできるのだなと心が温まりました。心が温まるような言葉がもっと広がっていくといいですね。

乳児リーダー 谷角 早紀

今月の先生コーナー

5月に仕事復帰してから早いもので半年が過ぎました。

9月で2歳になったばかりの娘は、最近おしゃべりがとっても上手になり、大人の言っていることもよく分かってきました。先日私の膝の怪我を見つけると、「ママいたい?」「大丈夫?」と心配そうに聞いてきて、「とんでけ〜」と痛いところを撫でてくれました。毎日一緒にいても、違う顔を見せてくれて、保育園で教えてもらった私が聞いたことのないような歌を歌ってくれたり、お友達の名前も一生懸命言おうとしています。お迎えに行った時に話すことや表情を見ると、保育園でたくさんのことを吸収して、楽しく過ごしているんだと嬉しくなります。

かえで保育園での出来事が子ども達の心に残って、お家でゆったり過ごす時間の中で少しでも思い出し、保護者の方との楽しい会話の時間になってくれたら嬉しいです。これからも保育者として、一人ひとりの子ども達のかげがえのない毎日を見守っていきたくと、我が子と過ごす毎日の中で改めて感じています。

原田 千尋

～めばえぐみ～

ねらい：「秋を感じよう・たくさん身体を動かしてあそぼう」

う た：「いとまき・げんこつやまのたぬきさん・オスワリヤス・せんべ せんべ」

日中も涼しくなりお外遊びも気持ちの良い時期がやってきました。少しずつ水遊びから歩いて園庭を探索する！に変わってきました。自分の足で好きな場所へ向かうことが楽しいようで、毎日たくさん身体を動かして過ごしています。最近はふたばさんやつぼみさんのお友だちの遊びにも興味をもってきており、後ろをついていったり、真似したりと遊びの幅もどんどん増えていっていますよ。これからも子ども達にとってどんな新しい発見があるのか楽しみですね。

～よいしょよいしょ～

つかまり立ちやハイハイも安定しつつあり、自分でしっかりと歩けるようになったお友だちもたくさんいます。そんな子ども達は最近階段に興味をもち、園庭や園内の階段に毎日のように挑戦しています。ハイハイで上る子もいれば、手すりをもって自分で上まで上っていく子も！一番上までいくと下にいる先生に向かって「どう？じょうずでしょ！？」というように振りかえって嬉しそうな表情を見せてくれます。園庭ではその先の滑り台にも興味津々で、年上のお友だちが滑る様子をじっと見つめています。自分で滑りたいけど、まだ少し怖い・・・そんな葛藤が見られ、とても可愛いです。しかし先生と一緒に滑るとその楽しさに「もうっかい！」と再び自分で階段を上っていく子どもたち。自分で滑り台を滑る日も近そうです。



～ばぁ！！～

お部屋に新しくトンネルを設置しました。設置したその日からみんなハイハイでトンネルをくぐったりその中を秘密基地のようにして中で遊んだりと思い思いに楽しんでいます。そんなトンネルを使って最近流行っているのが「いないいないばぁ！」です。トンネルの中に一



人隠れ、その周りにいるお友だちに向かって「ばぁ！」と顔を出し合っています。友だちの顔が出てくると笑顔を見せたり手を伸ばしたり、「ばぁ！」をする中で一人遊びが中心だった子どもたちは、少しずつ‘友だちと一緒に’という楽しさを感じているのかなと思います。また、一人が中に入っていくと「わたしも！」というように後ろをついていく子ども達の姿に微笑ましい気持ちにもなります。まだまだ会話はありませんが、目を合わせてにっこり微笑みあう子どもたちの姿にきっと何か思いが通じ合っているのかなと思います。



“担任の思い”

保育園生活にも随分と慣れてき、最近では自分の思いを伝えようとしてくれるお友だちも増えてきました。ご飯の場所はここだよね！と自分で椅子に座ったり「これ食べたい！」と食べたいものを指さして教えてくれたりと「自分で！」がよく見られるようになってきました。これまでは保育者が援助していたことも少しずつ自分自身でやってみたいに変わってきているのだなと感じます。そんな子どもたちの意欲を受け止めて様々なことにチャレンジしてほしいです。その挑戦が安心して出来るよう、保育者がしっかりそばで見守っていきたいです。

高田 奈沙・立田 瑛怜菜・植木 雅

～ふたばぐみ～

ねらい：「秋の自然を感じて遊ぶ・友達一緒に遊ぶ楽しさを知る」

う た：「きのこ」「大きな栗の木の下で」 わらべうた：「かごかご」

運動発表会ではお父さん、お母さんたちと触れ合いながらも子ども達が普段楽しんで遊んでいる姿が見られたと思います。夏から秋に変わり、園庭にある葉っぱやどんぐりで季節を感じているこどもたち。毎日どんぐりを探してはカップに入れて大事そうにもっています。「いっちょちょうだい、ちょっと見せて」とお友達が見つけたものを一緒に見て楽しんでいます。

～お散歩～



お友達と手を繋いで交通公園へお散歩に行きました。どこに行くのかな、わくわくと目をキラキラさせて楽しみにしていました。いざ、保育園を出発すると道路を走る車やトラック、バスに興味津々。公園に着くと、すべり台やブランコなど遊具でたくさん遊んだり、茶色の葉っぱをたくさん集めてお店屋さんごっこをしたりどんぐりをポケットがいっぱいになるまでいれて持って帰ったり自

分の興味のあるものに夢中になって遊んでいました。先生が「ここにどんぐりあるよ」と言わなくても子どもたちから発信されて楽しいことが伝染されていきます。



～種植え～

10月に小松菜とお花の種をみんなで植えました。軽石を入れて、土を入れてから種をそーと入れました。「これはなんの種？」「小松菜だよ」「大きくなるかな」とお友達や先生と会話をしながら優しく植えてくれました。小さな種を穴の中にそーっとそーっとこぼさないように入れる時はとても真剣な表情でした。初めての栽培ですが、子ども達は興味津々でしていました。絵本に出てくる野菜も「これはトマト！キャベツ！」と野菜にも興味をもって見えています。給食に出てくる野菜もちょっと苦手だけど食べてみようとして一口ぱくっ。「食べれたよ」と嬉しそうに報告をしてくれます。



「毎日おおきなあれ、お水やりしてくれる？」と先生が言う
と「いいよ！」と張り切って毎日お水やりをしてくれています。



大きくなって食べられる頃にはつぼみ組さんかな？お花は綺麗に咲いてくれるかな？楽しみにしています。

“担任の思い”

4月生まれのお友達と3月生まれのお友達では11ヶ月の月齢差があり、出来ること・出来ない事の差はありますがふたば組で半年過ごしたことで「だいすきなお友達」になりました。小さいお友達の出来ない事があると、「手伝ってあげるよ」とお手伝いをしてくれたり泣いているお友達がいると「えーんえーんしてるね」と心配をして優しく頭をなでなでしてくれています。言葉を話せない子もまだまだいますが、先生だけでなくお友達も表情で気持を共感してくれることもあり子ども達同士の絆を感じる毎日です。 原田 千尋・林 千紗・小坂橋 円香

～つぼみぐみ～

ねらい：「秋の自然に触れる・異年齢との関わりを楽しむ」

う た：「まつぼっくり・おなかへるうた・あたまかたひざぼん」

運動発表会では、少し恥ずかしかったりときどきしながらも一人で入場することがやクラス、親子競技を楽しみ成長した姿をたくさん見て頂けたかと思います。運動発表会を経て、日頃の遊びの中でも身体を動かして遊ぶことを楽しんでいます。幼児の姿を見て縄跳びや綱引きに挑戦してみたり「見てて」と張り切って鉄棒をして遊んでいます。



～あおむし～

園庭で遊んでいた時、お友達の衣服にあおむしが付いているのを見つけました。この出来事をきっかけにあおむしを育て始めました。見つけたときは興味津々で「これなに？」「あおむしじゃない？」と子ども同士で会話をしながら図鑑で調べ始めました。みかんの葉っぱを食べることを知った子どもたちはみかんの葉っぱを拾い、虫かごに入ると「食べるかな～？」と観察し、葉っぱを食べ

ている様子や、うんちをしたことを知ると目をキラキラさせながら好奇心旺盛です。朝、あおむしに挨拶することも習慣付き、葉っぱが枯れていると園庭までみかんの葉っぱを集めていました。様々な図鑑であおむしのページを開き、蝶になるまでの様子やいろいろな羽の模様の蝶がいることを知り、種類も気になっている様子です。「どんな蝶々かな？」と蝶になるまで待ち遠しいようでわくわくしています。あおむしが動かないことを知ったとき、保育者がさなぎになる準備をしていることを話すと木の枝を探し始めました。蛹になったときは「どこ？」「これあおむし！？」と動かないあおむしを不思議そうに見ていました。そして「はらぺこあおむし」の絵本を室内に置きました。歌を歌ったり「一緒だ！」「蛹になったら皮を脱いで蝶になって出てくるんだよ！」「蝶になったらかえしてあげるんだ」と話しています。ダンゴ虫やセミなどいろいろな虫に触れてきた子どもたち、今は幼虫を見つけて「これなんだろう？」と興味をもっています。そんな姿も見られこれからが楽しみです！



めばえさん～

園庭に出るとめばえぐみのお友達の事が気になるようで、優しく手を引いて一緒に散歩したり、声を掛けてあげています。拾ったどんぐりや図鑑を見せる姿もとても可愛らしいです。言葉が話せなくても語り掛けていることに、反応したり子ども同士のアイコンタクトがあっ



てにっこり笑いかけるとそれをみて笑顔になるめばえさん。その様子を見てお兄さんお姉さんだなと感じます。異年齢での関わりを見て、また大人とは違う子ども同士で共感するものがあるんだろうなと実感します。これからも異年齢との関わりを大切にしながら見守ってまいります。

“担任の思い”

友達との関わりが多く、気の合う友達と好きな遊びをして遊んでいます。泥団子作りや積木など一緒に工夫して、考えて遊ぶことが増えました。様々な不思議や発見から遊びが発展し、広がっているんだなと感じています。秋から冬にかけて様々な経験を通して自分の事は自分で出来るよう援助していき、保育者だけでなく友達に助けてもらったりしながら共に成長していけたらと思います。

日笠 加菜・星加由美子・山本あかね

～いぶきぐみ～

ねらい：「畳んだ服をかばんに片付ける」「体を動かしてあそぶ楽しさを味わう」

う た：「こぎつね」

朝の園庭はぼかぼか陽気に包まれています、夕方になると日が沈むのも早くなりました。季節の移り変わりを感じると共に、周りの環境の変化に気付きをもち、秋のあそびを楽しんでいきたいと思えます。生活面では、着替えの流れや食後の歯磨きも定着してきました。今は脱いだ服を袋に入れていますが、鞆に片付ける方法に移行していこうと思えます。服の前後などまだ難しい部分もありますが、見守りながら、子どもたちが自分で出来る機会を増やしていきたいと思えます。

“だいすきのまる”

運動はっぴょう会では、お子さまの成長と共に、お姉さんお兄さんとのやりとりや普段子どもたちが過ごしている園での様子を感じていただけましたでしょうか。子どもたちの絵の中にはひかり組、だいち組の友だちや、おうちの方が登場している子どもも多くいました。絵を描きながら嬉しそうに話している様子を見ていると、温かい愛情を受けて大きくなっていることそしてそこに安心し信頼を寄せている関係性も伝わってくるようでした。中でも、お兄さんお姉さんと一緒に踊った『パプリカ』の絵を描いたAちゃん、実際にはなかったものですが、絵の中には3人を包み込むように大きな白い丸が描かれていました。“3にんいっしょ”と心の声が聞こえてくるようで、Aちゃんの暖かい気持ちがペアの友だちにも伝わっているといいな、と思えます。



“おうちへご招待”

お部屋では六角形の机にいぶきさんで集まり、よく塗り絵をしています。

じっくりと塗り絵に向かっている時もあれば、“おはなしの会”が繰り広げられることも多々あります。大人のいない子どもたちだけの世界、どんな会話が生まれているのだろうと気になり、そっと耳を澄ましてみることにしました。

「ねえねえ、わたしの家にあそびに来てみたい?」「いきたい!」「じゃああそびにきたい人、てあげて」「はーい!」子どもたちだけで、おうちへの招待が始まりました。

「じゃあ今度はぼくのいえにきてもいいよ、いきたいひと?」「はーい」招待してもらったなら今度はお返しをしなくちゃといった様子で、どんどんとおうちへのお誘いが盛り上がっていきます。

「そしたらさ、わたしのひいばあばのいえきたい?」「いくいく」「〇〇ちゃんはどうする?」「いこうかな」「わかった。じゃあ1、2、3、4…」ついにはひいおばあちゃんの家の約束まで、そして点呼が始まりました。もちろん、本当に行くわけではないでしょうし、子どもたちもどこかで分かってはいるのだと思えます。それでも自分たちで約束をして、大好きなおうちにお招きしているいぶきさんの会話が可愛くてたまりませんでした。これもまた、いぶきさんにとっては“ともだちのしるし”なのかな、と思えます。

“担任の思い”

きっと大人の世界への憧れもあり、でも大人は知らない子どもだけの世界も毎日色々な場面で生まれているのだと思えます。覗いてみたい気もするけれど、子どもしか知らない世界の中でこそ、自分で工夫することや友だちといる心地良さも味わうことが出来るのかもかもしれません。子どもたちの絵には、心の声や感じていることがとてもよくあらわれます。決して“上手”“下手”ではなくて、隠れている想いに気付くことのできる、子どもの絵には素敵な役割があると感じます。

河本 彩奈

～ひかりぐみ～

ねらい：「寒さに負けず、体をたくさん動かして遊ぶ」

う た：「きのこ」

運動発表会では、子ども達のやってみてみたい気持ちがいっぱいの鉄棒や跳び箱はいかがでしたか？子どもたちのやってみてみたい気持ち。そして、普段の子ども達が楽しんでいる遊びを十分にご披露できたと思っています。運動発表会が終わった後も、出来ないことにも挑戦している姿も見られます。出来ないけどやってみてみたい気持ち、諦めずに続けた先の達成感や楽しさをこれからも感じて欲しいと思います。また、「パブリカ」が流れると踊りだす子ども達。クラス関わらずみんなで楽しんでいます。

“大きくなったさつまいも”

6月から育てていたさつまいもを収穫しました。葉っぱがすごく大きく育っていたので、子ども達のさつまいもへの期待も大きくなっていました。さつまいもを掘る前は「どんなさつまいもが出来ているかな」「おいしくできているかな」と楽しみにしている様子でした。ひかり組はいぶき組と一緒に掘りました。みんなで協力し大きな葉っぱが付いた長くてしっかりしたツルを持って「うんとこしょ どっこいしょ」と引っ張りました。力いっぱい引っ張り、抜けた時に尻もちをついた子どももいました。しかし、ツルにはなかなかさつまいもが付いていませんでした。1つ2つとついているさつまいももあり、見つけた時はみんなとても嬉しそうでした。ツルをある程度抜き、土を掘るとさつまいもが次から次



へと出てきました。さつまいもを見つけた子ども達は嬉しそうに握りしめ、先生たちに見せてくれました。一度さつまいもを掘ると「もっとさつまいもを掘りたい」と子ども達の手は止まりませんでした。掘ったさつまいもを机の上に置いていくと、机が見えなくなる程のさつまいもが収穫できました。



絵画では、収穫したさつまいもを描きました。さつまいもを見た子ども達は「これは僕が掘ったさつまいも」などさつまいもを収穫した時の嬉しさがまた出てきたような嬉しそうな表情でした。さつまいもをじっくり見ながら、クレパスを持



ち真剣な表情で線を描いていました。絵の具では赤・青・黄の3色を

使いさつまいもの赤紫色や土の茶色など子ども達が感じたさつまいもを描いていました。薄くて綺麗な色のさつまいも、濃くどっしりしたさつまいもなどどれも美味しそうなさつまいもができました。さつまいもを描いていると「早く食べたいな」という声も聞こえてきました。31日の焼き芋大会が楽しみです。

“担任の思い”

6月から水やりをしていたさつまいもが、収穫できて嬉しそうな子ども達でした。協力してさつまいもを引っ張る姿、一人ひとりさつまいもを丁寧に掘る姿など様々な姿が見られました。自分の掘ったさつまいもを大事そうに持っていました。初めから育てたからこそ大切に思っており、さつまいもを育ててよかったと思いました。生き物のお世話同様、子ども達が友だちだけでなく、食べ物など何事にも大切に、感謝できるようになってほしいです。

松岡 桃花

～だいちぐみ～

ねらい：「自分の気持ちを大事にする」「相手に伝わりやすい言葉で相手に伝えようとする」

う た：「ともだちっていいな」

“最後の運動発表会”

15人全員で力を合わせて頑張ろうという話になってから、今までお城や昔の町について調べたことを、お父さん、お母さんにも伝えたいという意見が出ました。話を進めるなかでピカピカに光るシャチホコが印象的だったことや、忍者のからくり部屋が隠れていた事など、子どもたちの中で伝えたいことはたくさん出てきました。



しかし、それらをどうやって身体で表現するのかを考えることが難しいかと思っていましたが、子どもたちの考えには驚かされることばかりで、「このポーズ、昔の船に見えない?」「じゃあ後ろでこのポーズしたら、船長が乗ってるみたい?」など子ども同士で話しながら決めていました。大人が考えつかないようなおもしろいポーズも真剣に考えだす子どもたちは本当にアイデアマンで、たくさんの技ができました。

最後にお城をテーマに15人全員の技をすることは初めから子ども達と決めていましたが、なかなか力の入れ方がわからなかったり、上に乗る人、下で支える人をどうするのかも悩んでいました。「やっぱり1番上に乗る人が1番かっこいい」と考えている子どももいましたが、様々な場所を実際に経験してみることで、下で支えることの難しさや大変さを感じ、自ら「下の人やりたい!ぼく力が強いから、頑張れる。」と役割を担おうとする姿も見られました。自分で頑張ると決めた役割に責任を持つことで、やっとお城が完成した時の子ども達の表情は本当にキラキラしていて、「先生、手は離してるの?!すごーい!!やった!」と興奮した様子でした。

15人全員で成功させたい思いは子どもたちの心のなかにずっとあったようで、「今日も練習する?」「早くしようよ!」と言葉にする姿が見られたり、なかなかうまくいかないところがあると、みんなとの練習が終わってからも挑戦していたり、その様子を見て「がんばれ!」と一緒に練習に付き合う子どももいました。始めは「砂が膝についたら痛いよ。」「上に乗るのこわいなあ。」と不安そうな言葉もありましたが、運動発表会が近づいてくるうちに、早く発表したいというワクワクした様子も見られ、1か月前からは考えられないほど真剣で楽しみにしているようでした。

子どもたちの気持ちも空に届いたのか園庭で発表することもでき、みんなで喜んでいましたが、前日は雨が降っていたため、当日はシートを敷いてしました。練習中はシートを敷いたことがなく膝に砂がついても、痛みを我慢していたため、当日も痛みを我慢して取り組むことができるということを見せたかったと悔やしい気持ちを後から話してくれる子どももいました。それほど強い気持ちを抱いてくれていたことが本当にうれしく思いますし当日たくさんの人が見ている中で発表することだけでも、とても勇気がいることですが、堂々と発表できた子ども達の力は本当に素晴らしかったです。心も身体も大きく成長できた一日になったと嬉しく思います。

“担任の想い”

去年のだいち組の組体操の様子が子どもたちの記憶に残っていて、憧れを抱いていて、最初は同じように取り組むと考えている子どもが多かったように感じますが、技を考えていくうちに、今年のだいち組の真面目で一生懸命で、どこか柔らかい優しい雰囲気が出たように思います。その雰囲気は今の子ども達にとって素敵なお城にはありますが、担任の思いとしては周りの意見に合わせるだけではなく、自分の意見を曲げずに相手に伝えることで、もう少し子どもたち同士で気持ちがぶつかり合う場面があってもいいと考えていました。

自分のやりたいことを選択して興味の幅を広げる力はどんどん成長していく子ども達。そして共通の興味をもとに協力することができた運動発表会でした。次のお泊り保育では、一人ひとりが自分の気持ちを大事にできる機会であってほしいと願っています。忍者は遊びに来てくれるのか?巻物は届くのか?楽しみにしている子ども達。大人になっても心のどこかに残るような素敵なお泊り保育になればと思います。

林 奈津美

保護者の方からのおはなしコーナー

我が家の愛息は日々良き友だちや先生たちの愛情いっぱいの環境の中笑顔が途切れることなく成長してきました。

先日の運動発表会でのリレー競争。パブリカのダンスなど、どの場合も一番輝いていたなあ〜と親ばかながら感じたのでした。(笑)

いぶき組 まことさん

家族で一番下の娘が保育園で一番上になりました。保育園でいっぱい頑張っているのです、お家ではとっても甘えんぼさんです。

たくさんの方の手で愛され育った娘は宝です。いつもありがとうございます。

だいち組 まさこさん

最近、色々考えながら自分の思いや考えを話してくれるようになった息子です。

私の仕事が遅くなり、疲れたオーラが出ていたのでしょうか…。息子が「お仕事大変なん？おつかれさま。早く寝ようね」と優しい声掛けにびっくり！！予想外のことにとても驚き、嬉しく、また息子の成長を感じる出来事でした。

ひかり組 よしみさん

私は日課にしている事があります。

会社から帰ったら「今日はどやった？」と聞くことです。

上の子は、友だちのこと、保育園での出来事、先生のことを色々教えてくれます。

下の子は、むにゅむにゅ何かを話しています。それが私の楽しみです。

ひかり組 てっぺいさん

1歳になってから興味の範囲がより広がったように感じます。最近、玄関に置いていた靴を持ってきては「お散歩に行こうよ！」とアピールをしたり、自ら履こうとしたりします。そしてお着換えの時には自分で着ようとしたり…興味からでてくる「自分でやりたい！」という気持ちが出てきました。まだまだお手伝いをしてあげなきゃと思っていた子が…。日々の成長を感じました。これからも驚きと発見を見つけるのが楽しみです。

めばえ組 きみさん

運動発表会を終えた夜、息子と一緒に風呂に入り、今日一番楽しかったことを聞いたとき…。しばらく沈黙し目にはうっすら涙。ぽつり、ぽつりと発表会のことを話している様子が、保育園生活が残り少なくなってきているのを子どもなりに感じているんだなって思いました。

だいち組 あきこさん

最近、野菜が嫌いで家では全く食べなくなってしまいました。保育園では食べているということで何が違うんだろう？と悩み中です。

ふたば組 ゆうこさん

☆お台所から☆

11月になりました。肌に触れる風もだんだんと冷たくなり晩秋の気配を感じるようになりました。これから温かい料理や冬野菜がおいしい季節ですね。献立の中にも冬野菜や具たくさん汁ものを取り入れています。又、お昼の果物やおやつを選ぶメニューも取り入れています。今月は園でもさまざまな野菜が収穫できたようアスパラやさつまいものつるをお調理の部屋に持ってきてくれました。「茹でて塩かけて食べたい!」「これでふりかけ作りたい!」と子ども達から提案してくれます。今子ども達が興味のある事ややりたい事をクッキングとして一緒に楽しんでいければと考えています。

10月の食育活動の様子

・つぼみ組さんにさつまいもご飯のさつまいもを手で小さく折ってもらいました。固いと苦戦するお友だちに頑張れー!と応援する姿や折るときのポキッと言う音を楽しむ様子が見られました。

・幼児さんの目の前でつるむらさきの炒め物を作りました。つるむらさきを初めて見る子が多く、なんだなんだ?と興味深そうに触ったり、匂いをかいだりしていました。その場で食べてみると、ねばっとしているのが出てきた!しゃきしゃき音が聞こえる!と予想外に大好評でした。普段お野菜が苦手なお友だちも勇気を出して食べてくれました。

11月に予定している食育活動

- ・白玉団子を丸める
- ・リンゴジャムを作る
- ・白菜をちぎる
- ・かぼちゃの種を取る
- ・手作り味噌を使ってクッキング
- ・その他にもめばえ、ふたばさんにはその日に使う野菜を見たり触ったりする機会を作っていきます。

11月の献立 旬の食材

栗	さつまいも	小松菜
れんこん	みかん	柿

<かえで保育園のおすすめレシピです♪>

<大学芋>

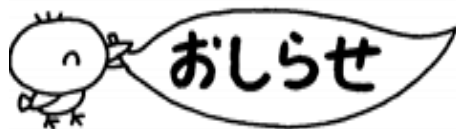
【材料】

- ・さつまいも 400g
- ☆水 大さじ1
- ☆砂糖 大さじ4
- ☆みりん 大さじ1
- ☆濃口醤油 大さじ1/4
- ☆酢 大さじ1/2
- ・油 適当
- ・黒ごま 適当

【作り方】

- ①さつまいもは乱切りし水にさらす。
- ②水気を拭き 170℃の油で竹串がすっと通るまで揚げる。
- ③鍋に☆を合わせ煮詰める。
- ④あめ状になったらさつまいもを加え、手早く絡める。
- ⑤黒ごまを振って出来上がり。





•かえでカフェのフラダンスはみなさんと日程調整をさせていただいた結果、11月29日(金)となりました。時間は後日お知らせさせていただきます。今まで参加したことのない方もぜひご参加お待ちしております。

こんなことしたよ♪

19日はうんどう発表会がありました。1部は室内での実施でしたが、保護者の方の協力もあり、みんなで楽しむ事が出来ました。2部は子どもの思いが空に届いたのか園庭で行うことが出来ました。今年ならではの異年齢での取り組みや、子どもが夢中になっている遊びを見ていただけたことと思います。お忙しい中のご参加ありがとうございました。



25日は消防署立ち合い訓練と消防設備点検がありました。実際に消防士の方が消防車に乗って保育園に来てくださいました。消火器や火事になった時のお話もみんな真剣に聞いていました。あいにくの雨でしたが、レインコートや傘をさしてカッコいい消防車と記念撮影もすることも出来ました。消防士のみなさまありがとうございました。



★お願い★

11月8日(金)はだいちのお泊り保育があります。職員全員でプログラムをサポートします。可能なご家庭は早めのお迎えにご協力をお願いします。日割りの延長は緊急以外受け付けません。また9日は家庭保育のご協力をお願いします。



11月の予定

8・9日(金・土)

*だいちぐみのお泊り保育

- 11日(月) 児童交流会(だいち)
- 12日(火) 耳鼻科健診 13:30~
- 13日(水) だいち地域交流会
- 15日(金) 全園児お弁当日
- 21日(木) 歯科健診 10:00~
- 22日(金) 月例健診
- 26日(火) 眼科健診 14:30~
- 29日(金) だいち交流会

7・14・21・28日(木) 体操
12・25日 絵画

12月予定

- 14日(土) 成長発表会
- 17日(火) 移動動物園
- 24日(火) お楽しみ会
- 29日~1月3日 冬期休暇
- 26日~1月6日 冬期保育